

## 「ABC分類(ABCD判定)」専用報告書 運用開始に伴う検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では胃の健康度を調べる「ABC分類」検査を受託しておりますが、当該検査の委託先より、新たに「D判定」を加えた専用の「ABC分類検査報告書」を下記期日よりご提供させていただくとご連絡がございました。

D判定は従来のC判定区分をより細分化したもので、胃の健康度をA、B、C、Dの4つのリスク群に分類し、このリスク群に応じた検診間隔を設定することで、さらに効率的な検診を行うために有用です。

また、報告する分類コメントなどの検査要項が変更となりますので、併せてご案内させていただきます。

宜しくご利用を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### ■対象項目/変更内容

##### ●[セットコード 0019] ABC 分類

報告区分	新コメント	旧コメント	
分類	A 群	同右	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます
	B 群	同右	少し弱った胃です。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
	C 群	弱った胃です。 内視鏡による定期的検査を受診しましょう。	弱った胃の可能性があります。 内視鏡による定期的検査をお勧めします。
	D 群	かなり弱った胃です。 かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。	弱った胃の可能性が高いと思われます。 内視鏡による定期的検査をお勧めします。

[ご注意] ※ ABC分類(ABCD判定)の依頼項目は下記の通りです。

・ペプシノゲン《ラテックス凝集比濁法》・ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG《EIA》・ABCD分類

※ 当該検査はセット検査として運用させていただきます。依頼書でご依頼の際は、[セットコード 0019]ABC分類とご記入下さい。

※ ABC 分類(ABCD 判定)の判定基準は裏面をご参照下さい。

#### ■報告開始日

2014年7月31日(木)受付日分より

以上

## ■ABC 分類の ABCD 判定基準

【判定基準】

		HP 抗体価検査	
		陰性(-)	陽性(+)
PG 検査	陰性(-)	A	B
	陽性(+)	D	C

【新・胃の健康度】

A 群	健康な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。
B 群	少し弱った胃です。 胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意が必要です。
C 群	弱った胃です。 内視鏡による定期的検査を受診しましょう。
D 群	かなり弱った胃です。 かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

## ■ABC 分類検査報告書(見本)

[表面]

**A B C 分類検査報告書**

検査者名

受診者名  性別  年齢

科名  受付日 年 月 日

検査日  検査日 年 月 日

**A B C D 分類判定結果**

\*\*\* あなたの胃の状態 \*\*\*

**A 群**  
健康な胃



**B 群**  
少し弱った胃



**C 群**  
弱った胃



**D 群**  
かなり弱った胃



コメント

**ペプシノゲン/ヘリコバクター・ピロリの判定結果**

検査項目	判定	検査項目	判定	測定値
ペプシノゲン	陽性	ヘリコバクター・ピロリ抗体	陽性	18U/mL 未満

ペプシノゲン検査項目	測定値	判定値
ペプシノゲンⅠ	100%	100%以上
ペプシノゲンⅡ	100%	100%以上
ペプシノゲンⅠ/ペプシノゲンⅡ 比	100%	100%以上

※検査結果: ペプシノゲンⅠ: 70.1ng/mL以上またはペプシノゲンⅠ/Ⅱ比: 1以上

製薬会社: 株式会社 LSIメディエンス  
 インフォメーション: 020-8894-2111

[裏面]

**あなたの「胃の健康度」は  
血液でチェックすることができます！**

ペプシノゲン検査  
+

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃の検査で多く実施されているのはバリウムを飲んでから行うX線造影で、フィルムに写った胃壁の凹凸から胃の状態を見る検査です。この方法とは別に、2種の血液検査を組み合わせることによって「胃の健康度」を測ることができます。

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査	
陽性(-)	陽性(+)
Aタイプ	Bタイプ
Dタイプ	Cタイプ

Aタイプは多くはヘリコバクター・ピロリ感染と考えられませんが、P値が15ng/mL、S/P比が1.5以下、およびP値1/Ⅱ比が4以下、ヘリコバクター・ピロリ感染も疑われるため、内視鏡による検査をお勧めします。

**Aタイプ**  
健康的な胃粘膜で、胃の病気になる危険性は低いと考えられます。ただし、逆流性食道炎には注意しましょう。

**Bタイプ**  
少し弱った胃粘膜です。胃がん・十二指腸がんなどに注意しましょう。

**Cタイプ**  
弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になりやすいタイプです。内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

**Dタイプ**  
かなり弱った胃粘膜です。胃がんなどの病気になるリスクがあります。かならず、内視鏡による定期的検査を受診しましょう。

ペプシノゲン検査

「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を測定することで、胃粘膜の老化(萎縮)を客観的に測る検査です。

ヘリコバクター・ピロリ抗体検査

胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないか調べる検査です。感染している人はすべてが胃の病気になるわけではありません。

監修: 札幌医科大学 総合臨床部 消化器 井上 和彦

※縮小して掲載しています。